



進路だより

札幌市立宮の森中学校
令和5（2023）年度
第9号
6月6日（火）
進路係発行

保護者のみなさん、生徒のみなさん、共にお読みください

学校説明会等のお知らせ

北海道札幌南高等学校（公立）

学校説明会：7月28日（金）10：00～11：30（受付9：30～）※定員700名まで
内容：学校説明、動画による学校紹介（校舎・部活動見学は実施しません）
申込方法：7月28日（金）までの期間に、HPで内容等が告知されます。6月26日（月）9：00～6月30日（金）16：00の期間にHPの申込用のGoogle formsから各自で申し込んでください。

北海道石狩翔陽高等学校（公立）

生徒・保護者向け学校説明会：第1回 9月9日（土）、第2回 10月14日（土）
※時期が近くなったら、また改めて案内を出します。総合学科情報を各学級1部配布しました。

進路の見通しをしっかりと立てられるように、自分が申し込んだ、または申し込む予定の学校説明会等については、申込の締切日や実施日等をフォーサイトに記入する習慣をつけましょう。

進路決定に向けての情報です。各学校の詳しい情報が掲載された「進路のしおり」が6月中旬に全員に配付されます。今後私立高校のパンフレットも続々と配布されます。1学期中には「私立高校ミニガイド」「私学ナビ」が全員に配布される予定です。この小冊子には、学費や特待制度等についても掲載されています。また、各学校のホームページや受験情報誌も参考になります。

学校の雰囲気を知るには、学校説明会に参加して、直接自分の目で確かめることが一番です。それらの情報を通して、「通学の利便性」「学力」「部活動」「進学実績」「学費」などを考え、志望校を決定してください。大事なことは、最終的な決断は自分です、ということです。高校は義務教育ではありません。自分の進路は、自分の意思で決定してください。なお、**第2回進路希望調査を6月13日（火）に実施します。提出締切は6月20日（火）です。**

「努力の壺(つぼ)」という話 (どこかで聞きたい話)

「お母さん、努力の壺の話、またして」「うん、いいよ。今度はなあに」「さかあがり」「あらまだいっぱいになっていなかったのね。ずいぶん大きいねえ」

といいながら、お母さんはいすを引いて、私の前に座りました。そして、もう何回もしてくれた、努力の壺の話を、またゆっくりと始めました。それはこんな話です。

『人が何かを始めようとか、今まででできなかったことをやろうと思ったとき、神様から努力の壺をもらいます。その壺はいろんな大きさがあって、人によって、時には大きいやら小さいのやらいろいろあります。そしてその壺は、その人の目には見えないのです。でも、その人が壺の中に一生懸命[努力]を入れていくと、それが少しずつたまって、いつか[努力]が溢れるとき、壺の大きさが分かる、というのです。だから、休まずに壺の中に[努力]を入れていけば、いつか必ずできる時が来るのです。』

私はこの話が大好きです。幼稚園の時初めてお母さんから聞きました。その時は、よこばしご(うんてい)の練習をしている時でした。それから、一輪車や鉄棒の前回り、跳び箱、竹馬。何でもがんばってやっている時、お母さんに頼んでこの話をしてもらいます。くじけそうになった時でも、この話を聞いていると、心の中に大きな壺が見えてくる気がします。そして、私の[努力]がもう少しで溢れるように見えるのです。だから、またがんばる気持ちになれます。

お母さんの言うとおり、今度の逆上がりの壺は、ずいぶん大きいみたいです。逆上がりを始めてから、もう2回もこの話をしてもらいました。でも、今度こそあと少しで溢れそうな気がします。だから、明日からまたがんばろうと思います。

お母さんは、「壺が大きいととても大変だけど、中身がいっぱいあるからあなたのためになるのよ」と言ってくれるけど、今度は神様にもらうときは、もう少し小さな壺がいいなあと思います。